

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

■ 受託開始日 2025 年 10 月 1 日（水）ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード (旧項目コード)	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
00U61 3 (0U61 5)	曜日指定 CREB3L1 mRNA定量	血液 (3.2%クエン酸Na加) 4.5	PC5 (L)	室温 (3日)	7~11		RT-PCR (リアルタイム PCR)	(copy/test)	重凍 裏面参照 £

- 造血管腫瘍遺伝子検査のご提出について
検体は採取後、当日中にご提出ください。
- [00U61 3] CREB3L1 mRNA定量について
受託数の増減により、所要日数が変わる場合がございます。あらかじめご了承ください。



● CREB3L 1 mRNA定量

骨髄増殖性腫瘍（MPN）における新たなマーカーとして期待されている研究検査です。

骨髄増殖性腫瘍（MPN）とは、血球が過剰に産生される疾患であり、中でもフィラデルフィア（Ph）染色体陰性MPNは主に真性多血症（PV）、本態性血小板血症（ET）、原発性骨髄線維症（PMF）に大別されます。

これらの疾患の診断には、*JAK2*、*MPL*、*CALR*などの遺伝子変異が用いられますが、いずれの遺伝子変異がないトリプルネガティブ症例もみられ、反応性の血球増多との鑑別が難しいことがあります。

*CREB3L 1*は、MPN患者の血小板に特異的に発現し、反応性血球増多では発現しないことから、特にトリプルネガティブ症例における新たな診断補助マーカーとして注目されています。

本検査は順天堂大学との共同研究により開発した*CREB3L 1* mRNAの発現量を測定する研究用検査であり、今後のMPNの診断精度向上に寄与することが期待されています。

▼疾患との関連

骨髄増殖性腫瘍（MPN）

▼関連する主な検査項目

JAK2 V617F遺伝子変異解析
MPN遺伝子変異解析

▼検査要項

検査項目名	曜日指定 <i>CREB3L 1</i> mRNA定量
項目コード (旧項目コード)	00U61 3 (0U61 5)
検体量	血液（3.2%クエン酸Na加） 4.5 mL
容 器	PC5（L）3.2%クエン酸ナトリウム入り
保 存 方 法	室温保存してください
所 要 日 数	7～11 日
検 査 方 法	RT-PCR（リアルタイムPCR）
基準値（単位）	(copy/test)
報告範囲（単位）	10未満、 $1.0 \times 10^*1 \sim 9.9 \times 10^*9$ 、検出せず (copy/test)
桁数	有効2桁、整数1桁、小数1桁
検査実施料	
判断料	
備 考	重 凍 凍結保存は避けてください。受託可能日は月～金曜日です。 指定容器（PC5）以外でのご依頼はできません。 必ず指定容器（PC5）に採血し、室温保存にて速やかにご提出ください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。

㊦

●参考文献

Morishita S, et al : Cancer Sci 112 (2) : 884～892, 2021. （検査方法参考文献）

De Marchi F, et al : Leuk Res 119 : 106883, 2022. （臨床的意義参考文献）